

詳細は
カラー版のWEB取説
をご覧くださいハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュー
トラルの取組の一環として、紙の取扱説明
書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。

初版

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防
ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす
危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告

この表示の欄は「死亡または重傷を
負う恐れがある」内容です。

注意

この表示の欄は、「軽傷、物的損害、故
障が生じる恐れがある」内容です。■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明
しています。このような絵表示は、してはいけない「禁止」
内容です。このような絵表示は、必ず実行していただく
「強制」内容です。日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

警告（製品に係る安全事項）



禁止

本機は、溶接のために設計・製造されています。指
定された用途以外には使用しないでください。改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・
信頼性が低下したり故障の原因になります。また、
弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操
作をさせないでください。未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下
で作業してください。成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、
独自の使用をしないでください。

電気ショックは、深刻な怪我や死亡の原因になります。

機械が動いている際には、どんな部品も水と接触さ
せないようにしてください。もし機械が湿気を帯び
た場合、始動させる前に拭いて乾かしてください。長靴についても、感電防護に注意が必要です。水た
まりの中に立ったり、濡れた手で機械等に触らない
でください。

強制

感電防止のため、法律（電気設備技術基準）で定め
られた接地工事を実施してください。接地工事は専
門の配線工事業者（電気工事士）に依頼してください。定格入力電圧300V以下の場合、第D種接地工事
（接地抵抗100Ω）以下です。操作する前に、電源コードを注意深くチェックして
ください。もし電気系統が損傷していたら、使用せ
ずに修理や交換を行ってください。作業をする場所からは子供やペット等は遠ざけてく
ださい。

始動前点検を実施してください。

部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼ
す全ての箇所に異常がないか確認してください。始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確
認してください。使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに
使用を中止し、点検、修理を行ってください。

⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	損傷した電源コードを使用しないでください。火災になる危険があります。	 強制	点検整備を行なう場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
	本機や本機作業場所の周囲には、不用意に人が立ち入らないようにしてください。		破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
	心臓ペースメーカーを使用している人は、本機や本機作業場所に近付かないでください。本機を操作中は、周囲に磁場が発生し、ペースメーカーに悪影響を与える可能性があります。		修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故・怪我の原因になることがあります。
			長期保管する場合は、屋内で、湿気の少ないところに保管してください。
			子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
			ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。

⚠注意（製品に係る安全事項）

 強制	本機を過度のレベルで使用した場合、または高温環境、換気の悪い場所で使用した場合やファンが誤動作した場合、熱過負荷保護装置が働き、動作を停止します。この場合は、本機の電源を入れたままにして、内蔵ファンが動作し続け、機器内の温度が下がるようになります。内部温度が安全なレベルに達すると、本機は再び使用できるようになります。	使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
		部品交換は、純正部品を使用してください。
		定期点検整備を行ってください。

⚠警告（作業に係る安全事項）

 禁止	身体の調子が悪いときや、判断力に影響するような酒類を飲用、または薬物を服用しているときは、使用しないでください。	 強制	引火性物質を遠ざけてください。火災や爆発の原因になります。
	狭い場所での切断作業は行わないでください。ガス中毒や酸欠により窒息する危険があります。		
	有害なガスや引火性の物質などが入っている容器は、切断しないでください。		溶接時に発生するヒュームやガスを吸引すると、健康を害する原因になります。
	帯電部には絶対に触れないでください。感電ややけどを負う恐れがあります。		
	トーチスイッチが押されている状態で、トーチ先端のチップに触れると感電ややけどの恐れがあります。		
	本機内部に堆積した粉じんを放置しないでください。絶縁劣化を起こし、感電や火災の原因になります。		ガス中毒や酸欠により窒息を防ぐため、法規（酸素欠乏症防止規則）で定められた場所では、人工呼吸器又は換気装置を使用してください。
	ケーブルの接続部は、確実に締めて絶縁してください。		

⚠警告（作業に係る安全事項）

 禁止	ケーブルは容量不足のものや破損したり導体がむき出しになったものは、使用しないでください。	 強制	ヒュームによる中毒や粉じん障害を防ぐため、法規（労働安全衛生規則、粉じん障害防止規則）で定められた局所排気設備を使用するか、呼吸用保護具を使用してください。
	素手や濡れた手袋で作業しないでください。感電する恐れがあります。		
	電源コードや電源プラグが破損していたり、コンセントの挿込みが緩いときは使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。		
	電源コード、トーチコード、アースコードを傷つけたり、破損させたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。感電、発火の原因になります。		
	分解や改造は行わないでください。火災、誤作動、故障の原因になります。（保証適用外）		
	子供や幼児の手の届く所で使用しないでください。やけど、感電、怪我の恐れがあります。		

⚠注意（作業に係る安全事項）

 禁止	交流100Vまたは200V以外では使用しないでください。	 強制	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って引抜いてください。破損したり、感電やショートして発火する恐れがあります。
	交流200Vを発電機で使用しないでください。交流電源やエンジン発電機などを使用すると、能力の低下を起こす恐れや故障する恐れがあります。100Vを発電機で使用する場合は、定格入力（kVA）2倍以上のものをご使用ください。		電源プラグの抜き差しは、電源スイッチの「OFF」を確認してから行ってください。
	本機を保管する場合は、風雨の当たる場所、高温・多湿、ほこりっぽい場所は避けてください。本機の故障の原因になります。		延長コードを使用する場合は、3.5sq以上の太いコードを使用し、10m以下のコードをご使用ください。
	運搬や取扱いの際は、振動や衝撃を与えないでください。		電圧降下を起こして溶接がうまくできない場合は、市販の昇圧トランスをご使用ください。
	1ヵ所のコンセントに本機以外は接続しないでください。		アーク光線は、目の炎症ややけどの原因になります。溶接作業や溶接監視を行う際は、十分な遮光度の遮光メガネや溶接用保護面を使用してください。
			飛散するスパッタ（金属粒）やスラグ（カス）から目を保護するため、保護メガネを使用してください。
			過剰な騒音は聴力に有害です。防音保護具を使用してください。
			溶接作業時は、革製保護手袋、長袖の服など作業に適した保護具・服装をしてください。
			溶接作業場所周辺には、アーク光線が他人の目に入らないように保護幕などを設置してください。
			トーチのチップ・ノズル、ワイヤを交換する際は、必ず本機の電源スイッチを切ってから行ってください。
			回転中のファンに手や髪の毛、服などを近づけないでください。

⚠注意（作業に係る安全事項）

 禁止	電源コード類を強く引っ張らないでください。	 強制 本機のケースやカバーを外したまま使用しないでください。 定期点検整備を行ってください。 点検・整備などでケースやカバーを外すときは、有資格者または溶接機をよく理解している人が行ってください。 ファンの掃除は、柔らかい布等で粉じんを拭取ってください。エアコンプレッサーによるエアガンでファンに吹き付けると、風圧で粉じんがファン内部に入り込んだり、ファンが高回転し故障の原因になります。 安全な場所に保管してください。 運搬する場合は、把手又はショルダーベルトをご使用ください。
--	------------------------------	--

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

!

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を手入するまで使用しないでください。

A. 本体



電源コード長さ：約 2m

B. 溶接ホルダコード



コード長さ：約 1.9m

C. アースコード



コード長さ：約 1m

D. ワイヤブラシ・チップングハンマー



- ※電源コードにはプラグは付いていません。別途ご用意ください。
- ※溶接棒は付属されていません。

- 安全な作業のためご用意いただくもの
- ・溶接用エプロン

・足力バー

・ヒュームマスク

・遮光面

・手袋

主要諸元

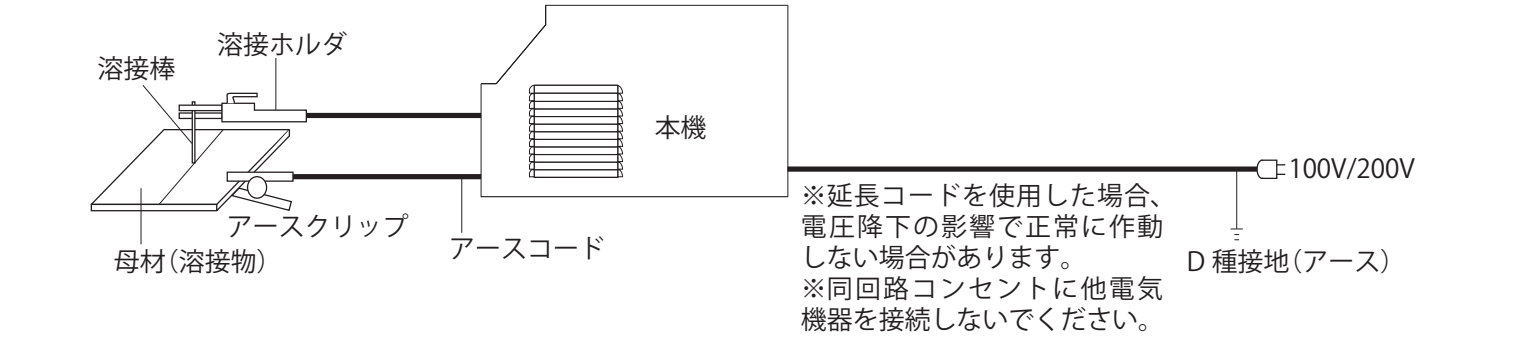
モデル名	HG-MMA-140D	
電圧（交流単相）	100V ± 15%	200V ± 15%
周波数	50/60Hz	
定格入力	3.65kVA/31.8A //3.1kW	7.17kVA/30.7A //6.1kW
	1.3kW	2.6kW
定格使用率	80A:60%	140A:60%
出力電流調整範囲	20-80A ※	20-140A ※
定格出力電圧	23.2V	25.6V
無負荷電圧	40V	56V
電極	Ø1.6-2.6mm	Ø1.6-3.8mm

溶接棒と電流の目安			
溶接棒径	Φ2.0mm	Φ2.6mm	Φ3.2mm
溶接電流	40-65A	70-100A	110-140A
母材板厚	4.0mm	5.0mm	7.0mm

※お客様のご使用環境により異なります。
延長コードを使用した場合、電圧降下の影響で正常に作動しない場合があります。

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

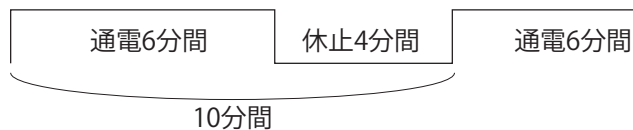
標準構成



使用上のご注意

使用率について

本機の定格使用率は100V/80A、200V/140A 60%です。これは、10分間のうち定格切断電流で6分間使用し、4分間休止するという意味です。



⚠注意

定格使用率以下でご使用ください。定格使用率以上で使用すると、本機の温度上昇値が許容温度を超え、劣化・焼損する恐れがあります。

電源について

本機は、単相100Vまたは200V電源でご使用いただけます。使用を誤りますと動作不良、故障、火災の原因になりますので、必ずお守りください。

⚠警告

本機を湿気の多い場所や鉄板、鉄骨などの上で使用するとき、漏電ブレーカー（インバーター用）を設置してください。法規（労働安全衛生規則第333条及び電気設備技術基準第41条）で義務付けられています。

⚠注意

交流200Vを発電機で使用しないでください。交流電源やエンジン発電機などを使用すると、能力の低下を起こす恐れや故障する恐れがあります。100Vを発電機で使用する場合は、定格入力（kVA）2倍以上のものを请使用ください。

接地（アース）について

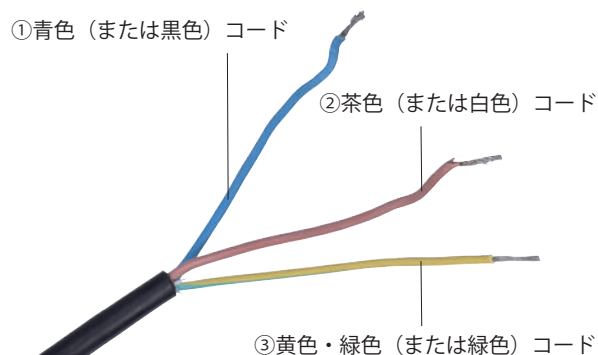
ケース及び母材（溶接物）は必ず接地（アース）してください。（D種接地工事）。

⚠警告

ケース及び母材（溶接物）は必ず接地（アース）してください。接地しないで使用すると、電源の入力回路とケースとの間にコンデンサーや浮遊容量※）を通してケースや母材（溶接物）に電圧が生じ、これらに触れた時に感電する恐れがあります。※ 入力側導体とケース金属間に自然に形成される静電容量

電源の接続

本機の電源コードを市販のプラグを取付け、電源コンセント100V/200V 又は（配電箱のヒューズ開閉器またはノーヒューズブレーカーなど）に接続してください。



- ①青色（または黒色）コード：AC100V/200V 単相電源に接続
- ②茶色（または白色）コード：AC100V/200V 単相電源に接続
- ③黄色・緑色（または緑色）コード：アース線

⚠注意

- 電源コードを接続する前には、必ず電源接続先の電源供給を切ってください。
- 各コードの接続部に緩みがないよう、確実に締付けてください。接続部に緩みがあると発熱などの異常の原因となります。
- アース線は確実に接続してください。

溶接の準備

⚠注意

- 電源コードを接続する知識や経験のない方は、お近くの電気設備業者様にご相談ください。
- コンセントは本機単独でご使用ください。

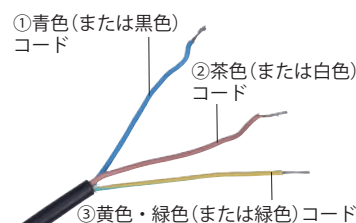
100V電源でご使用の場合

● 100V・15Aのコンセントへ

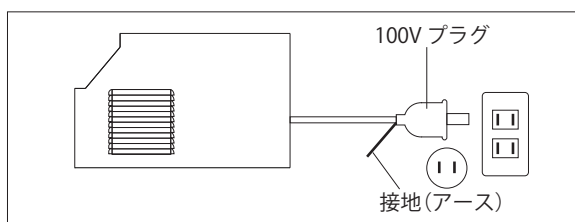
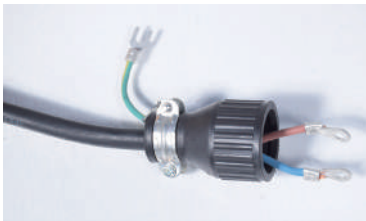
市販の100V用電源プラグ、裸圧着端子、アース線をご用意ください。

■ 100V用電源プラグの場合 2Pタイプ125V-15A

- 3色のコードに市販の裸圧着端子を取付けます。

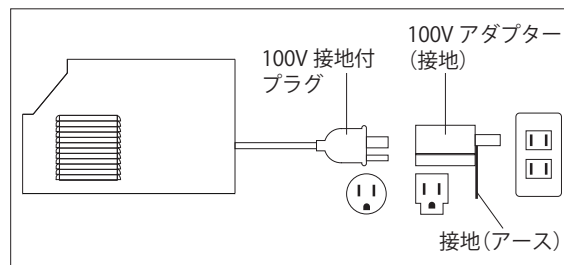
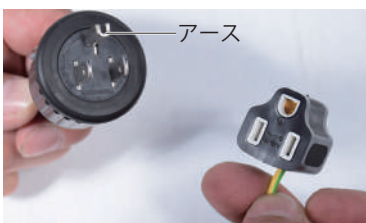
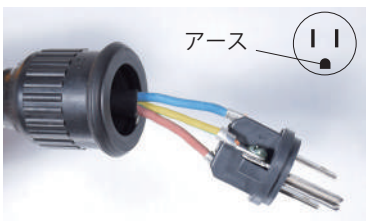


- 2** 3色のコードを電源プラグに取付けます。



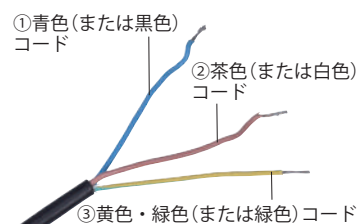
■ 100V用接地付電源プラグの場合 接地2P タイプ125V-15A

- 1** 3色のコードに市販の裸圧着端子を取付け、電源プラグの端子にコードを接続します。

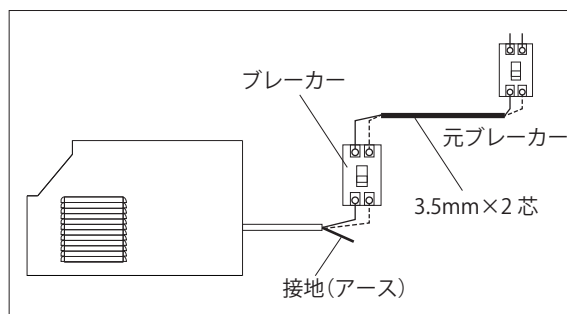


● 100V・20Aのブレーカー電源へ 市販のブレーカー、裸圧着端子、アース線をご用意ください。

- 1** 3色のコードに市販の裸圧着端子を取付けます。



- 2** 3本のコードをブレーカーに接続します。
※ブレーカーのタイプにより接続箇所等異なります。ブレーカーの説明書をご確認ください。



★65A以上で使用する場合は、直接ブレーカーより電源を取ってください。

200V電源でご使用の場合

市販の200V用電源プラグ、裸圧着端子、アース線をご用意ください。

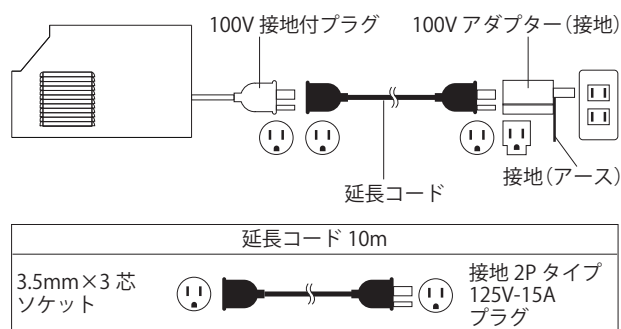
200V電源コンセントと同じ形状の200V用プラグに、3色のコードを取付けます。または、200Vブレーカー電源に直接接続します。

1 200V用プラグの場合

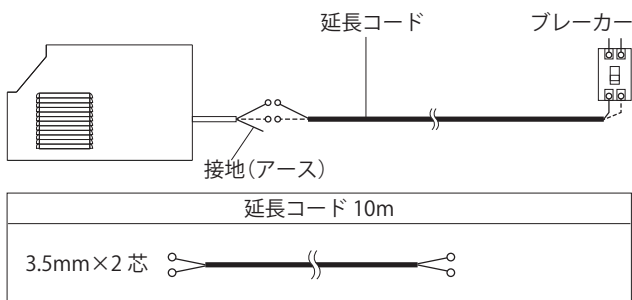


延長コードをご使用の場合

● 100V・15A 10mまでの延長



● 100V・15A 10m以上または200V電源10mの延長



⚠注意

- ・電源コードを接続する知識や経験のない方は、お近くの電気設備業者様にご相談ください。
- ・延長コードは、必ず国の定める基準に適合したものを使用してください。また、延長コードは、ご使用の供給電源と同じ規格に適合したものを使用してください。
- ・延長コードを丸めたり、電工ドラムに巻いたまま使用すると電源電圧が低下し、溶接ができなくなることがあります。電源コードは真っ直ぐ延ばし、電工ドラムからコードを全部引き出し使用してください。
- ・延長コードが長すぎると、コード内で電圧降下を起こし、溶接棒の溶けが悪くなります。

安全保護具の準備

溶接で発生するアークの光線、飛散するスパッタ、騒音から守るため、保護具をご使用ください。

- 1 溶接時のアーク光線は、特に紫外線が強いので、十分な遮光度の遮光メガネや溶接用保護面を使用してください。



⚠注意



- ・アーク光線は、目の炎症ややけどの原因になります。溶接作業や溶接監視を行う際は、十分な遮光度の遮光メガネや溶接用保護面を使用してください。
- ・飛散するスパッタから目を保護するため、保護メガネを使用してください。
- ・過剰な騒音は聴力に有害です。防音保護具を使用してください。
- ・溶接作業時は、保護手袋、長袖の服など作業に適した保護具や服装をしてください。
- ・溶接作業場所周辺には、アーク光線が他人の目に入らないように保護幕などを設置してください。

溶接の準備

コネクタとソケットの接続（正極性）

正極性と逆極性については次ページをご覧ください。

●溶接ホルダコードの接続

- 1 溶接ホルダコードのコネクタの凸部を、陰極ソケット（－）側の溝部に合わせ挿入します。



- 2** コネクタを挿込んだら、時計回りに止まるまで回します。



●アースコードの接続

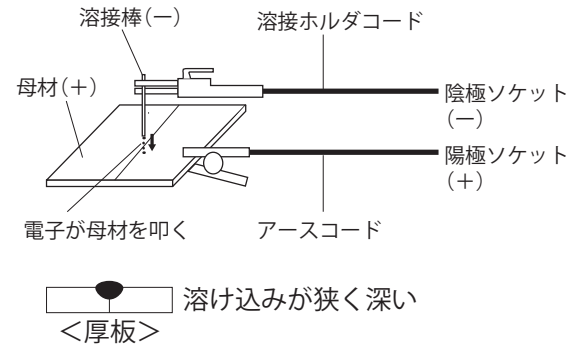
- 1** アースコードのコネクタの凸部を、陽極ソケット(+)側の溝部に合わせ挿入します。

- 2** コネクタを挿込んだら、時計回りに止まるまで回します。

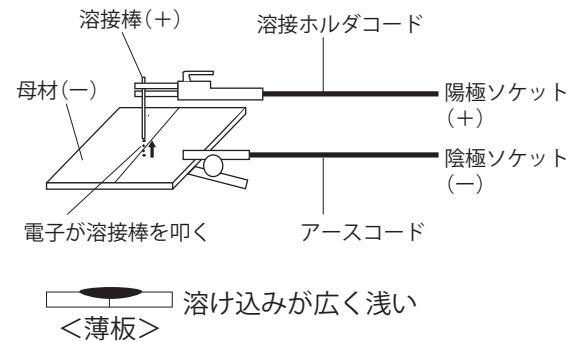
正極性と逆極性について

電気の正体は電子の流れで、電気とは逆の一極から+極へ流れます。このため、直流でアークを発生させると+極側の方は電子で叩かれるため、一極に比べて溶け方が早くなります。これを応用して、アースクリップコードを(+)に接続すると母材(溶接物)が+極になり、溶接ホルダコードを(-)に接続すると溶接棒が一極になります。この接続を正極性と言います。その逆の接続を逆極性と言います。

■正極性



■逆極性



●用途にあった接続

適用	接続方法	
厚板	溶接ホルダコードを陰極ソケット(-)	正極性
	アースコードを陽極ソケット(+)	
溶け込みを狭く深く	溶接ホルダコードを陰極ソケット(-)	正極性
	アースコードを陽極ソケット(+)	
薄板	溶接ホルダコードを陽極ソケット(+)	逆極性
	アースコードを陰極ソケット(-)	
溶け込みを広く浅く	溶接ホルダコードを陽極ソケット(+)	
	アースコードを陰極ソケット(-)	
ステンレス	溶接ホルダコードを陽極ソケット(+)	
	アースコードを陰極ソケット(-)	

運転操作の仕方

⚠注意

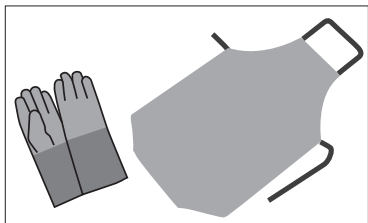
本機の操作は、この取扱説明書の内容をよく理解し、安全な取扱いができる知識と技能のある人が行ってください。

溶接作業場所の点検

- 1 狭くて密閉された場所でないことを確認します。
- 2 同回路コンセントに他電気機器が接続されていないことを確認します。
- 3 周辺に引火性物質や可燃物がないかを確認し、ある場合は取除きます。
- 4 近くに子供やペットがいないことを確認します。

保護具を着用する

- 1 革製手袋、溶接用エプロン等の保護具を着用します。



⚠注意



- ・アーク光線は、目の炎症ややけどの原因になります。溶接作業や溶接監視を行う際は、十分な遮光度の遮光メガネや溶接用保護面を使用してください。
- ・飛散するスパッタから目を保護するため、保護メガネを使用してください。
- ・過剰な騒音は聴力に有害です。防音保護具を使用してください。
- ・溶接作業時は、保護手袋、長袖の服など作業に適した保護具や服装をしてください。
- ・溶接作業場所周辺には、アーク光線が他人の目に入らないように保護幕などを設置してください。

溶接ホルダに溶接棒を挟む

- 1 溶接物の厚さ、使用率の条件などにより適切な溶接棒の棒径を選択します。

■目安

溶接棒	電流	電流母材厚
Φ1.6	40A～45A	3mm迄
Φ2.0	40A～65A	4mm迄
Φ2.6	70A～100A	5mm迄
Φ3.2	110A～140A	7mm迄

- 2 溶接ホルダに溶接棒を挟みます。



アースクリップに母材（溶接物）を挟む

- 1 アースクリップを、母材（溶接物）にしっかり固定します。母材（溶接物）に、塗装・メッキなどが施されている場合は、塗装・メッキを剥がします。油の付着や錆があるときは、取除きます。



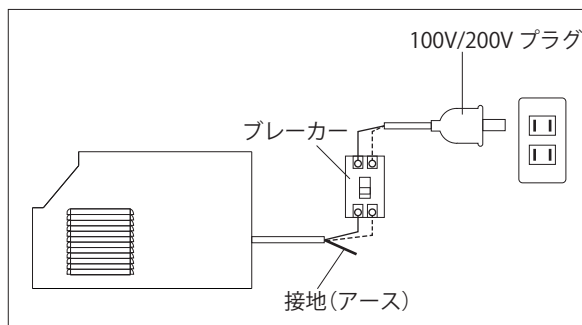
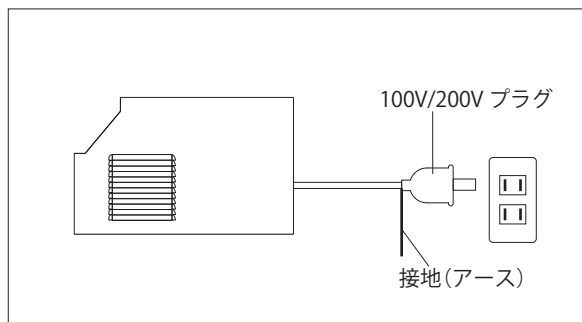
⚠注意

母材（溶接物）からアースクリップを外したり、挟み位置を変更する場合には、必ず、電源スイッチをOFF状態にしてから作業してください。

電源を入れる

本機は、100V/200Vは自動で切替わりますので、切替スイッチはありません。100Vコンセントから電源をとる場合は、15Aであることを確認し、他の電気機器との併用は避けてください。

- 1 入力側電源コードプラグを100Vまたは200Vコンセントに挿込み、接地（アース）します。または、ブレーカーを100V または200V コンセントに挿込み、接地（アース）します。



- 2** 本体リアパネルの電源スイッチを「ON」にします。ファンが回り出します。



- 3** 本体に電力が供給され本体フロントパネルの「電源」ランプが点灯します。



ポイント

電源スイッチを入れた後、1秒程度「点検」ランプが点灯します。
これは電源投入直後に漏電検出回路の動作テストを自動的に行っているためです。

⚠注意

「点検」ランプが点灯し続けた場合、溶接ホルダに高電圧がかかる恐れがありますので、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、溶接ホルダコードのチェックを行ってください。

溶接電流の調整ダイヤル

- 1** 溶接電流の調整ダイヤルを所要の出力電流値に合わせます。



保護面を付ける

- 1** 遮光メガネや遮光面を着用します。

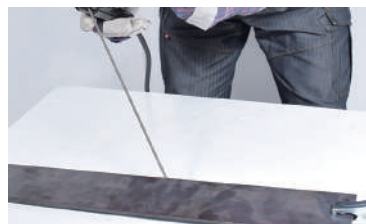


⚠注意

- 溶接作業が不慣れなときは、アーク、スパッタ、母材（溶接物）等でおぼれやけをすることがあります。必ず保護具を着用してください。
- 手持ち遮光面をご使用の場合は、直接アークを見てしまうことが多くあり、目を痛めてしまいますのでご注意ください。軽度の場合は、濡れタオルで冷やせば回復しますが、重度の場合は、医療機関にご相談ください。

溶接作業

- 1** 手持ち遮光面を使用の場合は、溶接棒の先端を溶接する所に近づけ、見当をつけ、アークする瞬間に手持ち遮光面で顔を覆います。
溶接棒を母材（溶接物）上でトントンと叩くようにすると、アークが発生しやすくなります。

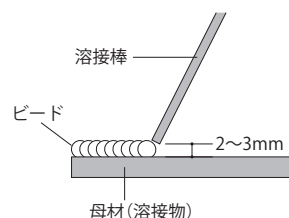


ポイント

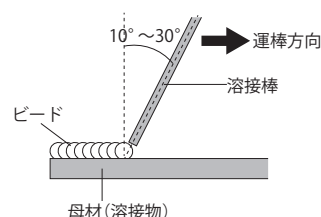
遮光面で顔を覆うと、暗くてアークするまで溶接箇所はほとんど見えません。慣れが必要です。

弊社販売の遮光面は、アークを感じたら自動でシールドされるタイプのものです。ご検討ください。

- 2** 溶接棒の先端と母材（溶接物）との隙間を2～3mmに保ちアークを安定させます。



- 3** 溶接棒の角度は進行方向に10°～30°程度倒します。

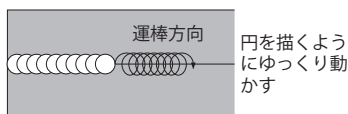


溶接棒は、母材（溶接物）が薄い場合は、早く直線的に動かします。母材（溶接物）が厚い場合は、溶接棒の先端で、円を描くようにゆっくり動かします。円の大きさは直径5～10mm程度です。

<薄板母材（溶接物）>



<厚板母材（溶接物）>



作業を終了する

- 1 溶接が終了したら、溶接棒を母材（溶接物）より引き離します。



⚠注意

- ・母材（溶接物）に溶接棒が付いて剥がれない場合は、溶接棒を押し付けるようにしてホルダを左右に振り、すばやく母材（溶接物）より引き離してください。
- ・母材（溶接物）は、大変熱くなっていますので、素手では絶対に触らないでください。やけどの恐れがあります。

- 2 溶接部分が冷え切ったら、チッピングハンマーでスラグ（溶接した上に覆っているカス）を叩き落とします。



- 3 ワイヤブラシ等でビード表面を磨きます。

- 4 リアパネルの電源スイッチを「OFF」にします。



⚠注意

作業終了後、すぐに電源を切らないでください。少しの間（5分前後）電源を入れたままにし、本機を冷却した後、電源スイッチを「OFF」にしてください。

- 5 電源プラグをコンセントから抜きます。または、電源コードを入力電源から取外します。

⚠注意

使用率がオーバーしますと、過熱保護のためランプが点灯し出力が停止します。その後、自動復帰しますので電源スイッチは、「ON」のままにしておいてください。



点検・整備の仕方

⚠注意

- ・点検・整備・清掃時は、入力側電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・点検・整備は定期的の実施し、損傷した部分は修理してから使用してください。

日常の点検

使用前に点検してください。

⚠注意

異常がある場合は、原因が解決するまで本機を使用しないでください。

- 1 電源スイッチ・表示ランプに動作不良がないか確認します。



- 2 ファンは電源スイッチを入れた時、円滑に回転しているか確認します。



- 3 通電時に異常な振動、うなり、臭いなどがいないか確認します。

- 4 コードの接続部に異常な発熱がないか、断線しかけているところがないか確認します。

3～6ヵ月点検

溶接機の性能を最良に保ち、安全に能率よく作業するために定期的な点検・整備を心がけてください。

- 1 外観にへこみや破損等がないか確認します。
- 2 本機の入力側、出力側のコード接続部分腐食がないか確認します。
- 3 コードに断線しかけていないところがないか確認します。

6ヵ月点検

6ヵ月に1回程度はケースカバーを外し、内部の掃除を行います。
(ケースカバーの外し方は次ページ参照) 冷却板にホコリやチリが集積すると、放熱が悪くなり故障の原因になります。
本機のカバーを外して、掃除機でホコリやチリを除去します。

⚠注意

- ・ ケースカバーのエッジ等で指を切らないよう手袋を着用してカバーを取外してください。
- ・ ケースカバーを取外す際、本体とカバー側がコードでつながっていますので無理に引っ張らないでください。
- ・ ホコリやチリを除去する際、配線や基盤等を傷つけないようご注意ください。

ケースカバーの外し方

- 1 7ヵ所のネジをプラスのドライバーで慎重に外します。



- 2 カバーをスライドさせ取外します。



※詳細はWEB取説をご覧ください。

This image shows a full page of a handwriting practice worksheet. It consists of multiple sets of three horizontal dashed lines, providing a guide for letter height and placement. The lines are evenly spaced across the entire page, which is otherwise blank.

[illegible]

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。
弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますので安心ください。
返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から 1 年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は 6 ヶ月といたします。
保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。
商品発送日より 7 日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等）
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
 - ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
 - ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
 - ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
 - ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 - ・無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。
- また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
- 1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 - 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 - 3. 保証期間（1 年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 - 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 - 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。